

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

|   | 視点           | 4年間の目標<br>(令和6年度策定)   | 1年間の目標   | 取組の内容   |  | 校内評価 |          | 学校関係者評価<br>(月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) |       |
|---|--------------|---|--|---|--|------|----------|--------------------|--------------|-------|
|   |              |   |  | 具体的な方策  | 評価の観点  | 達成状況 | 課題・改善方策等 |                    | 成果と課題        | 改善方策等 |
| 1 | 教育課程<br>学習指導 | <p>①授業や探究活動を通じて高いレベルの学力(思考力・判断力・表現力)と課題解決力を育成するとともに、生徒の進路希望を保障する教育課程を編成する。</p> <p>②生徒主体の行事や活動を活性化させ、協働性やリーダーシップを育成する。</p> | <p>①確かな学力をつけるために、主体的に学習に取り組む生徒が増えるよう、教科等の学習支援に取り組む。</p> <p>②生徒会活動や学校行事が生徒の主体的なものとなるよう努める。生徒が他者と協働し、リーダーシップを育めるよう支援を行う。</p> | <p>①主体的な学習についての共通理解を図り、教科等で連携し、その育成に努める。教科等で取り組んだ内容を全職員で共有し次年度に活かしていく。</p> <p>②各活動の目的を生徒・職員で共有し、場面に応じた生徒への働きかけを行う。また目的を達成できなかった振り返りを行い共有する。</p> | <p>①主体的な学習についての共通理解が図れたか。教科等で連携し、その育成に努めたか。教科等で取り組んだ内容を全職員で共有したか。</p> <p>②活動を通じて生徒が目的を達成できたか。教員が支援を行うことができたか。</p> <p>②魅力と特色ある県立学校づくりについてのアンケートでの学校行事・生徒会活動の充実に関する質問に、あてはまる・どちらかというにあてはまると回答した割合が8割を超えたか。</p> |      |          |                    |              |       |
| 2 | 生徒指導・支援      | <p>①部活動を活性化させるとともに学習との両立を図る。</p> <p>②社会の構成者として高い規範意識や他者を思いやる心を育てるとともに、個に応じた支援体制を構築する。</p>                                 | <p>①部活動の新方針の内容を周知・共有し生徒が部活動と学習の両立を図れるよう努める。</p> <p>②生徒の現状を詳細に把握して適切な支援・指導方針を立て、それを全職員と共有する。</p>                            | <p>①各部活動が新方針を踏まえた活動年間計画を立て実施する。また、本校の部活動の方針を改め、生徒・保護者・職員間で周知・共有する。</p> <p>②校内での声掛けや登校観察などを行う。またSCやSSW等も交えて職員の情報共有の機会を設ける。</p>                   | <p>①各部活動が新方針に基づいた活動を実施できたか。</p> <p>②支援・指導業務を適切かつ組織的に行えたか。情報共有が組織的な支援・指導につながったか。</p>  |      |          |                    |              |       |

|   | 視点           | 4年間の目標<br>(令和6年度策定)  | 1年間の目標   | 取組の内容  |   | 校内評価 |          | 学校関係者評価<br>(月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) |       |
|---|--------------|--|--|--|---|------|----------|--------------------|--------------|-------|
|   |              |  |  | 具体的な方策   | 評価の観点   | 達成状況 | 課題・改善方策等 |                    | 成果と課題        | 改善方策等 |
| 3 | 進路指導・支援      | ・生徒一人ひとりが高い志を持って第一志望を設定し、その進路実現を支える指導と支援の体制を構築し、実践する。                  | ・生徒の第一志望の実現に向けた進路指導体制の確立に取り組む。また、キャリア教育の機会を広げる。  | ・職員研修を実施し、模擬試験や合否結果等のデータの分析方法や活用方法を研究することにより、一人ひとりの進路指導に生かす。また、生徒及び保護者に対して高い目標を維持し、努力する意識啓発を行う。<br>・大学等出張講義の講座を生徒のニーズにあわせた分野を模索し、生徒が参加しやすい状況にする。 | ・国公立大学現役合格者数45人以上を達成したか。<br>難関私立大学（早稲田・慶應義塾）現役合格者数40人以上を達成したか。<br>・大学等出張講義の参加延べ人数が令和5年度の参加延べ人数（81人）を超えたか。         |      |          |                    |              |       |
| 4 | 地域等との協働      | ①地域から信頼される学校づくりを推進し、生徒が地域で活躍できる環境を整備する。<br>②地域や社会のニーズや喫緊の課題に前向きに対応する。  | ①地域に開かれた学校行事を充実させるとともに、地域行事における生徒の活動機会創出、協働につとめる。<br>②学校に対する、地域や社会の要請や、対応する上での課題について把握をすすめ、有効な対応を探り実行する。 | ①PTAや地域自治会、近隣小中学校等との情報交換、連携をもとに地域に向けた行事や地域における生徒の活動の充実を図る。<br>②学校関係者や関係組織との連携をすすめ、要請や課題を把握し、有効策を検討する活動を強化する。                                     | ①学校関係組織、団体と連携した上で信頼される学校づくりや生徒の地域における活動環境整備に向けた課題の把握、対応がなされたか。<br>②地域や社会のニーズ、喫緊の課題に対する把握、有効な対策の検討、実行に進展が見られたか。    |      |          |                    |              |       |
| 5 | 学校管理<br>学校運営 | ①教員の働き方改革を推進し、ワークライフバランスの改善による働きやすい職場を目指す。<br>②安全安心な学校生活のための教育環境を整備する。 | ①業務の精選と担当業務の適正化を行い、教員の業務負担を軽減する。<br>②環境美化に対する意識を高め、主体的に清掃活動をするよう指導する。美化委員の活動の活性化を図る。                     | ①グループが担当する業務内容を見直すとともに、業務アシスタントや総合実習助手を活用する。<br>②清掃の指導方法を見直す。美化委員会を中心として地域清掃や掃除の声掛けを行うことで、一人ひとりの環境美化の意識を高め、ゴミの分別の徹底ときれいな環境の保持を図る。                | ①グループの業務内容が精選されたか。教員の業務負担が軽減できたか。<br>②生徒の環境美化意識を高め、衛生的な環境を保持することができたか。通常清掃だけでなく、行事においても、美化委員会を中心とした美化活動の活性化が図れたか。 |      |          |                    |              |       |